

令和5年度 第3回 熱海伊東地域医療協議会 要約議事録

- 1 開催日時 令和6年2月14日(水) 18:30~19:10
- 2 開催場所 静岡県熱海総合庁舎1階 熱海保健所相談室 (Web会議)
- 3 出席委員
熱海市長 齊藤 栄
伊東市長 小野 達也
熱海市医師会長 渡辺 英二
伊東市医師会長 山本 佳洋
熱海市歯科医師会長 立山 康夫
伊東市歯科医師会長 稲葉 雄司
伊東熱海薬剤師会長 安立 寿美子
国際医療福祉大学熱海病院長 池田 佳史
伊東市民病院管理者 川合 耕治
熱海市健康づくり推進委員連絡会長 石黒 葉子
伊東市保健委員連絡協議会長 桑原 佳代
静岡県熱海保健所長 伊藤 正仁
- 4 議題
 - (1) 在宅医療圏等の設定等
 - (2) 静岡県保健医療計画における医療連携体制を担う医療機関の異動
 - (3) 第9次静岡県保健医療計画〈2次保健医療圏版〉最終案
- 5 報告事項
 - (1) 南あたみ第一病院の開設者の変更
 - (2) 感染症法改正等に伴う県の取組
 - (3) 医師数等調査結果

◇高橋次長（熱海保健所）

定刻になりましたので、ただ今から、「令和5年度第3回熱海伊東地域医療協議会」を開催いたします。

私は、事務局を担当しております、熱海保健所次長の高橋です。よろしくお願いいたします。本日の会議については、会議録を作成した上で公開することとしておりますので、御了解願います。

なお、今回開催分の議事録署名人につきましては、恐れ入りますが伊東市歯科医師会長の稲葉委員と伊東熱海薬剤師会長の安立委員にお願いいたします。

次に、本日の会議資料ですが、既に委員の皆様にお渡ししてございますが、「次第」、「出席者名簿」及び次第に記載の資料になります。

それでは、これより、議事に入ります。ここからの進行は、「熱海伊東地域医療協議会設置要綱」第5条に基づき、熱海保健所長の伊藤が議長を務めさせていただきます。伊藤所長、よろしくお願いいたします。

◇伊藤議長（熱海保健所長）

議長を務めさせていただきます、熱海保健所の伊藤です。

活発な協議と円滑な議事進行につきまして、皆様の御理解、御協力をお願いいたします。

本日は、次第に記載のとおり、協議していただく議題が3つと、報告事項が3つございます。多くの委員の皆様からの忌憚のない御意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議題1につきまして、事務局から説明いたします。

◇山本主任（熱海保健所）

資料に基づき説明

◇伊藤議長（熱海保健所長）

本日、議事とし、委員の皆様を決めていただきたいのは在宅医療圏の圏域についてです。事務局からの説明にもありましたとおり、連携拠点や積極的医療機関に関しましては、次回以降に引き続き協議を続けていきますが、在宅医療圏に関しましては、事務局案として今回提示させていただきました。

既にいくつかの関係機関とは調整を進めているところですが、事務局案の2次医療圏と同一とすることで支障といたしますか、御意見のある委員の皆さんいらっしゃいますでしょうか。

既に、熱海市、伊東市や両医師会とは意見交換を行い、支障は無いとの御意見を伺っていますが、熱海と伊東で少し別々にやっているようなところもあると

と思いますが、県の会議で一緒にやるような機会もありますので、二次医療圏と一緒にしても大きな問題はないと保健所としては考えております。

歯科医師会の先生で、例えば在宅の歯科医療提供などに関しまして、御意見などございますでしょうか。稲葉委員いかがでしょうか。

◇稲葉委員（伊東市歯科医師会長）

現在、伊東市における在宅、主に訪問診療につきましては、システムとしては、訪問診療を行っている歯科医院が、通常、今3件ありますので、そこをフルに利用してもらうよう、ケアマネジャーや地域包括センターの方から直接電話して予約を取るという方式を作ってる最中です。

◇伊藤議長（熱海保健所長）

伊東は伊東で完結しているところもあると思いますが、2次保健医療圏にしても特に大きな支障はないということによろしいでしょうか。

次に、薬剤師会の方からはいかがでしょうか。安立委員、何か御意見はございますか。

◇安立委員（伊東熱海薬剤師会長）

薬剤師会としては特に問題はありません。ほとんどの薬局が既に在宅に対応できる状態になっておりますので、必要な患者さんがありましたら、かかりつけの薬局が対応するというところで、特に問題はないかと思えます。

◇伊藤議長（熱海保健所長）

病院としては事務局案で問題は無いでしょうか。池田委員いかがでしょうか。

◇池田委員（国際医療福祉大学熱海病院長）

特に問題ないと思えます。ただ、ちょっと気になるのは、熱海地区ですと、湯河原とか真鶴という、二次医療圏外にまで足を延ばして在宅をやっている診療所がありますが、特に問題はないということによろしいのでしょうか。

◇伊藤議長（熱海保健所長）

個々の医療機関が在宅をやる範囲を決めるというよりは、一つの集合体として、会議をやったり、連携を図るところがこの圏域になりますので、熱海にある医療機関が神奈川県の方に行かれても問題ないです。

次に、川合委員はいかがでしょうか。

◇川合委員（伊東市民病院管理者）

圏域として、二次医療圏を在宅医療圏にすることには全く異議がございません。現実的には市町村、熱海市と伊東市という形になると思っています。

◇伊藤議長（熱海保健所長）

在宅医療圏としてはちょっと大きいかなと私も思っていて、熱海と伊東を見ると、それぞれ独立、自立してやっているところもあると思います。ただ、一方で熱海と伊東と一緒に会議をやったりする場もあると思いますので、そういったところで事務局案として挙げさせていただいたんですが、特に分けても一緒にやっても、メリットもデメリットもそんなに無いのであれば、一緒にやって行きましょうよということで、今回はお願いしたいと思います。

他の委員の皆さんも一応、特に特段のご意見がないようでしたら、議題1に関しましては、事務局案どおり二次保健医療圏と同一という方向で進めさせていただきたいと思います。その他の拠点等に関しましては次回以降でまた協議をさせていただきたいと思います。

次に議題2の保健医療計画における医療連携体制を担う医療機関の異動につきまして事務局から説明いたします。

◇山本主任（熱海保健所）

資料に基づき説明

◇伊藤議長（熱海保健所長）

議題2については現状どおりと認識しております。委員の皆様からも特に御意見はないと思いますので、原案どおり保健医療計画への記載を変更させていただきたいと思います。

次に、議題3につきましては、本日、委員の皆様からの御意見を伺い、最終案とさせていただきたいと思います。第9次保健医療計画の2次保健医療圏版の最終案について、事務局から説明をいたします。

◇山本主任（熱海保健所）

資料に基づき説明

◇伊藤議長（熱海保健所長）

こちらの最終案に関してはいかがでしょうか。既に委員の皆様から多くの御意見をいただき、修正をさせていただいた形のものでございます。

特に皆さんからの御意見は無いようですので、今回お示しした最終案を最終

的なものとさせていただきたいと思います。議題は以上になります。

ここからは報告事項になります。最初の報告事項の1番目ですが、今回、南あたま第一病院から開設者変更の事前協議の提出がございました。ただ、病床数に関しましては変更がございませんので地域医療協議会での承認事項ではありませんが、地域の医療提供体制が変化する可能性というものも、懸念されましたので、今回、地域医療協議会の場で今後の運営計画に関しまして御説明をしていただく場を設けました。

本日、新たな開設者となる社会福祉法人愛誠会の岡村理事長がお見えになっていますので、説明をお願いしたいと思います。

◇岡村理事長（社会福祉法人愛誠会）

社会福祉法人愛誠会の岡村です。よろしくお願いします。

この度、南あたま第一病院を社会福祉法人愛誠会が開設者として引き継いで、今後、4月1日を目途として開設していこうと企画しております。

医療提供体制については、現在の医療法人陽光会がやってるものをそのまま引継ぎます。病床数も変わらず、院長（管理者）そして看護体制、介護体制すべての職員をそのまま移行させますので、体制は変わらず、同等のものを提供する、あるいはそれ以上のものを考えております。

現在の問題として、病床数が110ありますが、そのうち70%ほどしか稼働していません。これは、看護師あるいは介護の職員の不足から起因するものと考えております。

看護師の方はまずまずの人数がいるんですが、介護職員の方が少ない状況です。私ども社会福祉法人愛誠会は色々な施設があり、近くには伊豆市に100名定員の特別養護老人ホーム、70名定員の特定施設を中心とした施設がありますので、そこの職員の異動等を図り、介護職員の充実を行う、あるいは技能実習生の導入を考えております。ミャンマーからの技能実習生が4名入ってくるなど、職員の充足を今から計画しております。

それから、外来数がこの5年間非常に落ちております。コロナ前から落ちており、こういったところで、地域の住民の役に立っていないのではないかとということで、診療にあたる医師の増員を図り、3月5日より常勤の医師として内定しているDrが1人おります。

そういった方の増員を含めて、外来、それから特色としての透析の機能の、あるいは入院患者数の増を図り、医療提供の質、量を高めながら、経営の足腰も強くしていきながら、SDGsを図っていくような計画しております。

高齢者の施設も作ったところで、やはり医療の分野、医療のケアというのがやはり介護施設には必要だと実感しております。若干距離はありますが、通えない

範囲ではないので、伊豆市の170人の入所者に医療的ケアを過不足なく提供できるような、連携をとれる病院であれば良いなということも含めて考えております。

◇伊藤議長（熱海保健所長）

説明の中で、医療提供体制に、透析も含めて変わりがなく、看護スタッフや介護スタッフそれから医師に関しては強化を図っていく計画もあるので、今、休床中の一般病床20床に関しても、今後、再開を考えていただけるというところを確認させていただいたところです。

せっかくの機会ですので、報告事項ではありますが、普段、南あたみ第一病院とお付き合いのある病院とか、医師会の先生などから質問等をいただきたいと思います。

熱海市医師会の渡辺委員どうでしょうか。

◇渡辺委員（熱海市医師会長）

陽光会からそのまま引き継ぐということで、本当に期待しております。

◇伊藤議長（熱海保健所長）

普段、病病連携で、熱海所記念病院や国際医療福祉大学熱海病院とお付き合いは結構あるんでしょうか。熱海所記念病院の金井病院長、いかがでしょうか。

◇金井オブザーバー（熱海所記念病院長）

今までどおりよろしくお願いします。当院も看護師が不足していい、救急を受入れたくても、また病床が空いても受入れられないことがあります。そういう時に、もちろん、手術とか急性期の患者さんは診るのですが、比較的落ち着いている方であった場合にお願いしていましたので、今後ともよろしくお願いします。

◇伊藤議長（熱海保健所長）

池田委員、いかがでしょうか。

◇池田委員（国際医療福祉大学熱海病院）

よろしくお願いします。コロナの時を含めて、今後、新規感染症が出てくる危険性があるということで、今までは、南あたみ第一病院が後方支援として本当によくやっていただきましたが、今後もそういう働きも担っていただけてよろしいんでしょうか。

◇岡村理事長（社会福祉法人愛誠会）

もちろん今までどおり、今まで以上にやっていきたいと思っております。

◇池田委員（国際医療福祉大学熱海病院長）

急性期として、当院は頑張りますので、後方支援としてよろしく願いいたします。

◇伊藤議長（熱海保健所長）

伊東市には現在、療養病床が無い状況になっています。（南あたみ第一病院までは）ちょっと距離がありますが、川合委員どうですか。

◇川合委員（伊東市民病院管理者）

伊藤議長からの発言のとおり、伊東市は療養病床が今、無い状況になっていますので、南あたみ第一病院には、引き続き後方支援として、御協力をお願いしたいと思います。

◇伊藤議長（熱海保健所長）

これまで以上にお付き合いをさせていただきたいという御意見が皆様から寄せられました。報告事項にはなりますが、今後とも変わらぬお付き合いを願いたします。

次に、報告2の感染症法改正等に伴う県の取組について、県の担当課から説明します。

◇塩津課長（県感染症対策課）

資料に基づき説明

◇伊藤議長（熱海保健所長）

委員の皆様、ただいまの説明に関しまして御不明な点などございますでしょうか。

◇池田委員（国際医療福祉大学熱海病院長）

今回、このコロナのパンデミックで、当院が一番悩んだり困ったことは、最初の頃の若い人たちがお亡くなるというのが一番つらい状況でした。そのときに最終手段としてエクモを回すということになったときに、この地区では回せなくて、静岡市立とか、もっと遠いところまで本当にもう死に物狂いで保健所の皆

さんもそうですけども、連れて行ってもらって、途中で急変したりしたのを経験しておりますので、東部地区で1個、どっかで回せる場所を作るっていう発想があるのかないのかということをお聞きしたいなと思っての質問です。よろしくをお願いします。

◇塩津課長（県感染症対策課）

池田委員ありがとうございました。エクモも含めまして、感染症だけではないと思うんですけど、医療の体制をどのように充実していくかというのは今回の感染症も含めて、医療全体の取り組みになってくるかと思えます。

今、委員からお話いただきましたエクモ、当然近くでやれる医療機関があった方が搬送の距離、時間が短くてすみますので、その分だけ救命率が上がるのかなと思っております。

これに関しましては、エクモだけじゃなく他の感染症に対する対策の充実も含めていろいろ御意見を伺いながら、こういった充実方法があるのかを御相談させていただきながら充実を図っていければというふうに思っています。

具体的に、それ以上踏み込んだスケジュールはお示しできませんが、そんな形で進めていければと思っております。

◇伊藤議長（熱海保健所長）

次に報告事項3について、事務局から説明します。

◇山本主任（熱海保健所）

資料に基づき説明

◇伊藤議長（熱海保健所長）

これで議事と報告事項全て終わりました。皆様、1年間どうもありがとうございました。

◇高橋次長（熱海保健所）

委員の皆様、ありがとうございました。これにて「令和5年度第3回熱海伊東地域医療協議会」を終了させていただきます。

上記のとおり、令和5年度第3回熱海伊東地域医療協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、議事録署名人が署名する。

令和 6年 3月 8 日

署名人 伊東市歯科医師会長

稲葉雄司

署名人 伊東熱海薬剤師会長

安立壽美子

